

介護人材確保の取組みについて

1 介護人材の現状

(1) 介護職員不足の見込み

介護職員は年々増えているものの、本市が令和2年（2020年）1月に実施した「介護保険事業者向けアンケート調査」によると、回答のあった市内介護サービス事業者のうち、約74%が理想とする従業員数よりも少ない人数で事業を行っていると回答しています。今後、要介護認定者が大幅に増加することが見込まれており、本市では令和7（2025）年に約1,100人の介護職員不足が見込まれています（表1参照）。

表1 需給推計（本市）

	需要見込 (A)	供給見込 (B)	不足人数 (A)－(B)
令和7（2025）年	16,701人	15,538人	1,163人
令和22（2040）年	19,343人	14,374人	4,969人

（厚労省「第8期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数」より推計）

(2) 有効求人倍率

介護分野は全産業に比べて高い状態です（表2参照）。

公益財団法人介護労働安定センター「介護労働実態調査（令和3年度）」の結果によると、「仕事内容の割に賃金が低い」、「身体的負担が大きい」、「健康面（新型コロナウイルス等の感染症、怪我）の不安がある」、「有給休暇が取りにくい」等の悩みを抱えており、これらのイメージから職業選択において敬遠されていると考えられます。

表2 有効求人倍率

		H29	H30	R1	R2	R3
全国	全産業	1.35	1.45	1.45	1.08	1.03
	介護分野	3.50	3.90	4.20	3.99	3.64
千葉県	全産業	1.28	1.33	1.29	0.90	0.86
	介護分野	4.62	5.21	5.12	4.77	3.87

（厚労省「職業安定業務統計」）

（千葉公共職業安定所「有効求人倍率の推移」）

(3) 採用率・離職率

介護職員の採用率及び離職率は、全産業平均よりやや高いものの、ほぼ同程度の状況です。また、県の傾向としては、全国平均と同程度となっております。(表3参照)。

公益財団法人介護労働安定センター「介護労働実態調査(令和3年度)」によると、介護関係の仕事を辞めた理由として、「職場の人間関係」が25.3%と最も高く、次いで「法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったため」等が挙げられています。

表3 介護職員の採用率・離職率

		採用率	離職率	離職者の勤続年数		
				1年未満	1~3年未満	3年以上
介護職員	全国	14.8	14.1	35.0	23.7	41.3
	千葉県	14.8	14.0	35.9	26.2	37.9
全産業(全国)		14.0	13.9	—	—	—

(厚労省「R3 介護労働実態調査」「R3 雇用動向調査」)

(4) 給与

国の「処遇改善加算の実施」により給与面での改善は進んでおり、令和元(2019)年10月には「特定処遇改善加算」が創設され、経験・技能のある介護職員に対する処遇改善が実施されています。さらに、収入を3%程度(月額9,000円)引き上げるための措置として、令和4年2月から9月末日まで「介護職員処遇改善支援補助金」の交付が行われ、同年10月からは、より安定的・継続的に賃金改善を図るため「介護職員等ベースアップ等加算」による賃金の引上げが行われています。

(5) 本市取組みの方向性

給与面での改善は進み、介護職員等の人数は増加しているものの、介護人材不足は依然として解消されていません。また、介護職員の悩みとして挙げられている「身体的負担が大きい」ことや、離職した介護職員が理由として挙げている「職場の人間関係」等も、人材確保が困難となっている一因と考えられます。これを踏まえ、本市では次に示す取組みを実施していきます。

2 本市の人材確保対策の取組み

(1) 離職防止・定着促進・生産性向上

介護現場における職員の負担軽減のため、介護ロボットの活用を促進する事業を実施します。また、介護分野での継続的な就業を支援するため、概ね3年以上の介護経験のある職員を対象とした研修兼交流会を開催します。

- ① 介護ロボットフェア（継続：平成30年度～） 【令和5年度 663千円】
 介護ロボットの有用性や活用事例の紹介、介護ロボットメーカーによる機器の展示・デモンストラーションを実施
 （令和4年度実績）
- | | |
|-------|--|
| 開催日 | 令和4年11月21日 |
| 会場 | オークラ千葉ホテル |
| 内容 | 展示（ロボット・ICT機器） 20法人
講演（介護ロボット導入施設等） |
| 参加者数 | 約50人 |
| 参加者意見 | 来場者数がやや物足りない。
→ 令和5年度は、周知方法等を検討しつつ、改善を図ります。 |

- ② 大規模修繕時介護ロボット・ICT導入支援（継続：令和3年度～） 【令和5年度 405,720千円】
 介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICT導入にかかる費用を助成

対象施設	特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症高齢者GH等
対象経費	対象施設の大規模修繕時に導入する介護ロボット・ICT導入費用等 （大規模修繕の費用は補助対象外）
補助額	420千円×定員数（上限額）
備考	令和5年度実施予定者は11者、令和5年度までの時限措置

- ③ ロボットを用いた介護予防モデル事業（拡充） 【令和5年度 20,000千円】
 高齢者施設利用者のADL・QOLの維持・向上及び介護職員の負担軽減を図るため、施設がコミュニケーションロボット等を導入する経費について助成
- ④ 介護事業者・介護ロボット開発事業者連携（新規） 【令和5年度 540千円】
 介護ロボットのさらなる活用に向けて、介護事業者と介護ロボット開発事業者等による検討会を創設
- ⑤ 中堅職員向けキャリアアップ研修（新規） 【令和5年度 1,320千円】
 概ね3年以上の介護経験のある職員を対象に、今後のキャリアアップ等を目的とした研修兼交流会を開催し、中堅職員の役割について理解を促すとともに、他の事業所職員とのネットワーク

づくりを支援。令和4年度まで実施していた「介護職員交流会」（介護分野の経験が比較的浅い職員を対象に、モチベーション維持向上や他の事業所職員とのネットワークづくりを支援するための交流会兼研修）に替えて、令和5年度より開催する。

（令和5年度予定）

開催日 令和5年度後半
会場 未定
内容 キャリアアップに資する研修
参加者数 各回定員20名程度を想定

（令和4年度実績：介護職員交流会）

開催日 令和4年10月11日
会場 千葉市中央コミュニティセンター
内容 介護レクリエーションに関する研修及びグループワーク
参加者数 9人
参加者意見 今後のレクリエーションに活かせる内容であった。
他の事業所の方と話しができて楽しかった。レクに限らず参考になることが多かった等

（2）多様な人材の確保・育成

介護分野へ新たに就労する介護職員を増やすため、以下の取組みを継続して実施します。

- ① 介護職員研修受講者支援事業（継続：平成24年度～） 【令和5年度8,066千円】
介護職員初任者研修または介護福祉士実務者研修を修了し、介護施設等に就労している者に対し、受講費用の一部を助成
（助成人数） 令和3年度 110人（初任者61人 実務者49人）
令和4年度 89人（初任者40人 実務者49人）※1/31時点
- ② 介護人材合同就職説明会（継続：平成27年度～） 【令和5年度1,373千円】
市内介護事業所と介護施設へ就職を希望する求職者のマッチングを実施
（令和4年度実績）
開催日 令和5年3月5日
会場 ペリエホール
出展法人数 21法人
参加者数 50人
- ③ 介護に関する入門的研修（継続：令和3年度～） 【令和5年度2,077千円】
介護未経験者が介護分野へ参入するきっかけを作るとともに、介護の業務に携わる上での不安を払拭するため、介護未経験者を対象に研修を実施
（令和4年度実績）

実施内容	基礎講座（3時間）及び入門講座（18時間） 計21時間
受講人数	63人（12月～1月開催分、2月～3月開催分の合計）

（3）外国人材の受入れ環境整備

市内の介護施設管理者等を対象とした、外国人介護職員の受入制度や受入方法に関するセミナーを引き続き実施し、日本の介護分野で働く意欲のある国外の人材受け入れを進めます。

また、受入施設の負担軽減及び外国人職員同士の交流を目的として、外国人介護職員向けの日本語教室を実施しています。

① 外国人介護人材受入セミナー（継続：令和元年度～） 【令和5年度200千円】

外国人介護人材の受入制度や方法について、理解を促すとともに、外国人の雇用の促進を図るため、市内事業者を対象にセミナーを開催

（令和3年度実績）

開催日	令和3年11月29日
会場	千葉市生涯学習センター
内容	・外国人介護人材の受入制度／現状に関する講演 ・外国人職員を交えた座談会
参加者数	50人（来場者18人、動画配信者数32人）

② 外国人介護職員向けの日本語教室（継続：令和2年度～） 【令和5年度1,516千円】

外国人介護職員の日本語力向上に伴う提供サービスの質の向上及び施設の負担軽減を図り、また、外国人職員同士の交流の場とするため日本語教室を実施

（令和4年度実績）

開催日	令和4年11月から令和5年2月（計12回）
会場	千葉市生涯学習センター ※委託先にて会場を確保
内容	日本で働くうえでのマナー、利用者とのコミュニケーション、介護の仕事で必要となる日本語について、午前と午後に分けて2クラス開講
参加者数	14人（※ 開講時の人数）

【参考】 国・千葉県の人材確保対策

国及び千葉県の主な取り組みは以下のとおりです。

表5 国及び千葉県の主な取り組み（●国 ○千葉県）

項目	内容
離職防止 定着促進 生産性向上	<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業 ○ 介護ロボット導入支援事業 （【補助率】対象経費の1/2 【限度額】「移乗介護」及び「入浴支援」ロボット100万円、それ以外のロボット30万円） ○ 介護記録等のICT導入支援 （【補助率】対象経費の1/2 【限度額】職員数に応じて100万円から260万円）
多様な人材の 確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 介護福祉士を目指す学生への修学資金貸与 ※ 5年勤務で返済免除 ○ 潜在介護福祉士に対する再就職準備基金貸付 ※ 2年勤務で返済免除 ○ 介護未経験者に対する入門的研修 ○ 50歳以上の方を対象とした「介護職員初任者研修」 ○ 合同就職説明会「福祉のしごと就職フェア」 ○ 就職活動の相談、紹介・あっせん
外国人材の 受入れ環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 介護の日本語学習支援（WEBコンテンツ） ○ 介護施設等による外国人留学生への奨学金等の支給に係る支援事業（千葉県留学生受入プログラム） <ul style="list-style-type: none"> ①マッチング支援 ②学費及び居住費支援 （基準額）日本語学校 5万円/月（1年間） 日本語学校及び養成施設在籍中の居住費 3万円/月（3年間） （補助率）1/2 ○ 千葉県外国人介護人材支援センターの設置 ○ 外国人技能実習生への日本語学習支援
介護職員の 処遇改善	<ul style="list-style-type: none"> ● 処遇改善加算（H21～ 7.5万円相当の改善） ● 特定処遇改善加算（月額最大 8万円） ● 介護職員等ベースアップ等支援加算（月額9千円相当）
介護職の 魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の生徒等に対する介護の仕事の理解促進や出前講座の実施 ○ 福祉の職場体験